

第 74 回日本臨床眼科学会
併設器械展示会 出展社 各位

第 74 回日本臨床眼科学会 出展社の皆様へのお願い

平素は協会活動にご高配を賜りまして、誠に有難うございます。

2020 年 10 月 15 日から東京国際フォーラム、JP タワー ホール&カンファレンスで開催されます
第 74 回日本臨床眼科学会の併設器械展示会についてお願いがございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、学会場、展示会場共に入場制限が設けられて
おります。それに伴い各社展示ブースで製品説明員の人数制限を実施させていただきます。

詳細は次頁にてご確認くださいませようお願いいたします。

併せまして、別紙の「第 74 回日本臨床眼科学会 展示会参加者登録リスト」に説明員の氏名を
記入して、期限までにご提出をお願いいたします。

日付、時間で交代する場合を含め、すべての参加者リストのご提出をお願いいたします。

また、ブース設営に携わる全関係者（施工会社、電気関係会社、資材運送会社、製品運搬会社等）の
企業名、参加者の氏名、連絡先等を記録して、学会終了後、約 2 週間程度、各社にて保管をお願い
いたします。

万が一、陽性者が発生した場合に学会、保健所等からの感染経路確認用として要請がある場合に提出
することになりますので、お手数ではございますが、ご理解・ご協力の程、宜しくをお願いいたします。

2020 年 8 月 3 日

一般社団法人 日本眼科医療機器協会

展示事務局

【出展社の皆様へご協力をお願い】

① ブース説明員の人数制限

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環で展示会場に入場できる人数が制限されています。
 (ホール E 出展社含む 2,173 人) (ホール B7 600 人)
 医療関係者に多数来場して頂くために展示会場入場証(ネームカード)の配布枚数制限を致します。
 入場証の追加の発行は行いません。
 今回の入場証は社名のみ印刷したものを配布いたしますので説明員内で調整をお願いいたします。
 ブースアテンド(説明員)をされる全員の氏名を事前に書面で提出して頂きます。(日付別)

<展示ブース説明員の人数制限>

1~4 小間	入場証 6 枚	20~25 小間	入場証 16 枚
6~8 小間	入場証 8 枚	40~60 小間	入場証 22 枚
10-18 小間	入場証 13 枚		

* 出展しない正会員企業、賛助会員へは 1~4 小間と同数の 6 枚を上限。追加配布、当日登録は行わない。

- ② 各社の展示責任者は、展示会参加者全員の氏名を書面で 10 月 7 日までに展示事務局に提出してください。
 これは万が一、陽性者が発生した場合に学会、保健所等からの感染経路確認用として要請がある場合に提出することになりますので、ご協力をお願いいたします。提出期限(10 月 7 日)以降、登録した参加者に変更が生じた時は、学会終了後 3 日以内に再度書類をご提出ください。
 企業の学会登録者でブースアテンド登録がされていない方のブースでの製品説明は避けてください。

- ③ ブースでの説明員はマスクの着用をお願いいたします。
 機器の操作説明時、場合によっては手袋も併用してください。
 製品説明で参加者も機器に接触する場合は、使用前後に製品をアルコール消毒してください。
 販促資材、サンプルについて手渡しは行わないでください。スペースを設けて参加者に持ち帰って頂けるように配慮をお願いいたします。ギミックの配布は禁止とさせていただきます。

- ④ 出展者同士の通路での不必要な会話、来場者へ大声での呼び込みや強引な誘導はしないでください。
 ブース内での商品説明、商談等行う際は、社会的距離をとるなど三密を避ける対応を取ってください。
 距離が取れない場合は、フェイスシールド着用等を検討してください。
 商談スペースを設けるブースは飛沫防止パーテーション等の設置対策を取ってください。
 商談時の飲料の提供もお辞めください。安全へのご配慮をお願いいたします。

- ⑤ 感染予防の対応等のお願い
 展示責任者はブースアテンドメンバーの健康状態を必ず毎日確認してください。
 会場ブース内では咳エチケットを遵守し、マスク着用、手指のアルコール消毒の徹底をしてください。

- ⑥ 展示責任者は感染が疑われるスタッフが発生した時は、該当者を速やかに隔離して、医療機関及び保健所に連絡して指示を受けて行動してください。
 その後に学会、展示事務局へ速やかに詳細報告を行うようにしてください。

* 下記に該当する方や症状の方の学会、展示会への来場は固くお断りいたします。
 各社で責任を持って管理をお願いいたします。

- ・ 過去 2 週間以内に感染、および拡大している国、地域への訪問歴のある方
- ・ 発熱があり検温の結果、37.5°C以上の発熱がある方
- ・ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 等